



しっかりやっておきたい 畳のお手入れ

きょう24日は「畳の日」です。日本人の生活に欠かせない畳ですが、長持ちさせるためには、小まめなお手入れが欠かせません。そこで、全日本畳事業協同組合の石河恒夫理事長にポイントを紹介してもらいました。

目に沿って拭くのが基本

畳は三つの部分で構成されています。土台となる「畳床」、表面に当たる「畳表」、この二つを縫い留める「畳縁」です。「上のイラスト参照」。

畳は三つの部分で構成されています。土台となる「畳床」、表面に当たる「畳表」、この二つを縫い留める「畳縁」です。「上のイラスト参照」。

日本の伝統的な畳は、畳表にイ草を使っています。最近では和紙や樹脂(ビニール)で作られている「工業畳表」も増えました。カビが付きにくく、色も自由に選べ、色あせしにくいのが特長です。

多くの人の抱える悩みがカビによる被害です。温度と湿度の高い環境に長時間さらされると、表面にカビが生えてしまいます。

カビ予防には 小まめな換気

特に、畳の部屋での室内干しは、洗濯物の水分を吸収してしまうので注意が必要です。冬場は窓の結露も原因になります。

- 換気** イ草は一気に湿気を放出しないので、長めに風を通す
- から拭き** 乾いたタオルや、ぬらして固く絞った雑巾で優しく拭く
- 掃除機** 定期的にかけて、目に入り込んだホコリなどを除去する
- 通気** 表面が空気に触れるよう、敷物は小まめにめくる

を見てみましょう【上の表参照】。最も基本的なことは、畳の目に沿って拭くことです。

畳は呼吸をしていますが、畳の上にじゅうたんやカーペットを敷くと湿気やホコリがたまり、ダニやカビの発生原因になります。基本的には敷かないように心掛け、どうしても必要な場合は小まめにめくって、換気と掃除をしてください。

よくあるトラブルの対処法も紹介します。タバコや線香などで焼き焦げてしまった場合、消火後にガムテープなどで穴をふさぎましょう。

交換する時は必ずプロに相談 汚れやカビがひどい場合、畳替えを検討します。「その際は必ず、畳製作技師士という国家資格を持つている畳のプロに任せてほしい」と石河理事長は話します。

返して使う「裏返し」、畳表自体を交換する「表替え」、畳全体を交換する「新畳入替」などの種類があります。有資格者のプロなら、どのように対処すればよいかを質問すると、複数の選択肢を示してくれるはずです。よく相談して決めてください。

コンの除湿機能を活用する②扇風機やサーキュレーターで室内の空気を循環させる③小まめな換気を行うーなどがあります。

有効です。乾かした後、掃除機でカビを吸い取ります。その上で、70%に希釈した消毒用エタノールを吹きかけ、3分程度放置し、畳の目に沿って、から拭きしてください。

問題 二重枠の文字をA～D順に並べてできる言葉は？



1	2	3	4	5	6
		A			
7			8	9	10
		11	12		13
14			15	16	

応募方法

9月29日(金)

ヨコのカギ